

令和6年度 てしかが観光塾

「観光×環境 ～気候変動時代の観光地域づくり～」を開催

てしかがえこまち推進協議会では、観光を基軸としたまちづくりに活躍する人材の育成を目的に「てしかが観光塾」を開催します。

てしかが観光塾は、国土交通省認定の観光カリスマである山田桂一郎氏を始め、観光のまちづくり、観光の学問的研究、観光の現場で活躍している方々を講師に迎え、地域の観光振興を担う人材の育成を進めるものです。

観光関係者はもちろん、地方公共団体、観光のまちづくりに取り組んでいる皆様のご参加をお待ちしています。

- ▶開催日時／11月23日(土)～24日(日)
- ▶会場／川湯ふるさと館(川湯温泉2-3-40)
- ▶参加対象／どなたでも参加できます
- ▶受講料／10,000円、(学生) 5,000円、(町民の方は無料です)

※23日(土)の夜に、交流会を予定しています。(参加費2,000円程度)

- ▶申込期限／11月14日(木)まで
 - ▶申込方法／塾生として参加される方は、てしかが観光塾特設ページをご覧のうえ、ページ内にある申し込みフォームからお申し込みください。
- その他の方法で申し込みを行いたい場合は、問い合わせまでご連絡ください。



申込み、問い合わせ先／
てしかがえこまち推進協議会事務局(中央2丁目3番1号)
役場観光商工課観光振興係 ☎482-2940 (課直通)
FAX:015-482-5669 E-mail:ecomachi@masyuko.or.jp

(広告)

不動産の事なら何でもご相談ください。

売りたい

買いたい

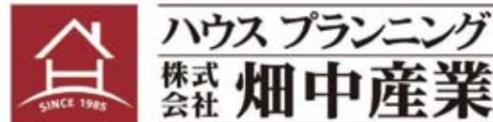
建てたい

借りたい

貸したい

直したい

解体したい



お問い合わせ
TEL.0120-50-9718
〒088-3215 川上郡弟子屈町美里2丁目9-3
宅建業免許 北海道知事 刻路(1)第565号 公益社団法人全国宅地建物取引業保証協会会員



いつかはわからないが、大地震が発生した時に備えて (その2)

防災ワンポイントコーナー

10月号では地震に対する備えとして、家具類の転倒・落下・移動の防止方法についてお話ししました。今月は**非常持出品として備えておくといよいもの**を紹介します。

非常持出品としては、下図(提供: 北海道)を参考にして、そのほかに歯磨きセット、お子さまに安心感を与えてあげるためのおもちゃなど、必要と思われるものを追加してください。災害時に必要なものがセットになった商品も販売されています。

非常持出品(避難時に持ち出すもの)

すぐに必要なもの	貴重品	応急医薬品
<input type="checkbox"/> 懐中電灯(できれば一人にひとつ) <input type="checkbox"/> 予備の電池・携帯充電器 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ ※電灯とラジオと携帯電話の充電機能を備えたものも便利です。 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災頭巾(頭のサイズに合ったものを用意) <input type="checkbox"/> マスク・軍手 <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> 緊急連絡先をまとめたノート	<input type="checkbox"/> 現金(10円や100円硬貨を含む) <input type="checkbox"/> 預金通帳と印鑑 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 運転免許証 <input type="checkbox"/> 住民票やマイナンバーカードなど身分証明になるもの <input type="checkbox"/> 権利証書など財産を証明するもの など 感染症対策 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 上履き(スリッパなど) <input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> 石けん・ハンドソープ <input type="checkbox"/> 体温計	<input type="checkbox"/> ばんそうこう・消毒薬・傷薬・包帯など外用医薬品 <input type="checkbox"/> 風邪薬・解熱剤・胃腸薬などの常備薬 <input type="checkbox"/> 病院から出されている薬と処方箋 <input type="checkbox"/> 家族に合わせて、子ども用の薬、持病の薬、生理用品やおむつなど
食品・飲料水	生活用品	
<input type="checkbox"/> 乾パンや缶詰、アルファ米など火を使わずに食べられるもの <input type="checkbox"/> 飲料水(ペットボトルで用意) ※乳幼児がいる場合は粉ミルクなども忘れずに	<input type="checkbox"/> 下着・上着・靴下などの衣類 <input type="checkbox"/> マスク・軍手の予備 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー、ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 紙の食器、紙コップ、割り箸 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター(マッチ)	<input type="checkbox"/> ラップ <input type="checkbox"/> ナイフ、ハサミ、缶切り、栓抜き、ドライバーなど ※これらが一体化した十徳ナイフなども便利です。
寒さから身を守る	<input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン <input type="checkbox"/> 防寒用ジャケット <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> 雨具・長靴 <input type="checkbox"/> カイロ など	

緊急時には荷物をまとめている暇はありませんので、それらをリュックなどに入れて、玄関などの**すぐに持ち出すことができる場所に置いて**おきましょう。

避難とは、文字どおり「災難を避ける」ことであり、自宅が安全なら避難所に行く必要はありません。町では「避難指示」などの防災情報を消防スピーカーやその他の手段でお知らせしますが、テレビ・ラジオの**天気予報や「キキクル」の活用**もお勧めします。気象庁が提供する「キキクル」は、10分ごとに危険度情報を更新し、あらかじめ登録した地域で土砂災害などの危険度が高まった場合、警報が発表された場合にスマートフォンなどに自動で通知するサービスを無料で提供していますので、危険が高まっていることをいち早く知ることができ、適切なタイミングで避難することができます。また、離れた場所にいるご家族などに避難を呼びかけることもできます。

来月号では、能登半島地震で避難所生活を送られた方の体験について紹介します。

問い合わせ先／役場総務課防災情報係 ☎482-2912 (課直通)